

『星陰りて、謀り響く』追加ハンドアウト
アリアのスマートフォン

陰謀論者のマードーミステリー

条件: カード「アリアのスマートフォン」を所有／閲覧すること
パスコードを GM に伝えること

ネタバレ防止用ページ

スマートフォンを開くと、まず通話アプリが目についた。大量の着信履歴がある。家族や「レン」からの番号が多い中、201年11月30日の国際電話が目を引く。2回だけ。誰からかはわからないが、γ国ジョカ市からかかっていた。

もう一つ、メモ帳のアプリが目立つように配置されていた。
中には大量のメモが残っている。

一つひとつのタイトルを見てみると、大切な人へのメッセージのようだが、宛てられた相手しかわからないであろうパスワードがかけられている。

唯一、鍵のない文章は以下の通りであった。

タイトルは「警察の方へ」

このスマートフォンを私『アリアケ・アオイ』の遺言状とします。

私は『夏音』に所属していました。

「政府がビルを使って宇宙人を呼び寄せようとしている」

「国民を宗教的儀式の犠牲にしようとしている」

などの陰謀論を垂れ流す組織です。バカみたいですね。

この話が実は全部本当なんだといっても、バカが騒いでいるだけと思われるでしょうね。四年間、ずっとそうでしたから。

だから、私の死をもって証明します。

あなたたちが作ってくれたこの国の、あなたたちが守ってくれる安全のおかげで、人間一人が消えることも人間一人が殺されることも、それだけで大事件です。

きっと、たくさん人が私のことを調べてくれます。

きっと、その内の誰かが——

いえ、善き心を持ったあなたが、この文章を読んでくれます。

ね、そうでしょ？

同じ遺言状はスマートフォンとパソコンに入っています。

私に健康問題はありません。

私は故郷を出ません。

私は自殺しません。

私は故郷で元気に生きて、故郷で無惨に殺されたのです。

だから、私の言葉を聞いてください。

この国は「ハスター」という宇宙人を呼ぼうとしています。

この化け物を召喚するために必要なものは、舞台と適切な呪文。

舞台の準備は整い、呪文は夏音が隠しています。

化け物で何をするつもりかは知りません。

ですが安全で豊かなこの国が、風の吹きすさぶ砂漠になり果てることは確かです。

私はこの国を愛しています。だから、私の死をもって証明します。

この国を救ってください。

11/23 追記

夏音の仲間たちと連絡が取れなくなって、半年がたちました。

そろそろ私の番ですか？

誕生日パーティーまで、待ってくれないか？